

種目名	書 写	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	教育出版
-----	-----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書
1 学習指導要領との関連		文字を整えて正しく書くための知識・技能や生活に必要な文字を書く力を身につけ、その力を日常の生活場面に生かすことができるよう編集されている。	毛筆で習得したことを硬筆で生かして書いたり、他教科や生活に役立てる態度が養えたりできるよう編集されている。	書写の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、幅広い知識と教養を身につけ、社会生活で生きて働く力が身につくよう編集されている。	書写の学習を通し、文字を正しく整えて速く書く力を身につけ、それを国語や他教科、日常の言語生活に生かす態度が養えるよう配慮されている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		単元末の「振り返って話そう」では、対話を通して学習を振り返ることで、思考を深め、次の学習への意欲を高められるよう工夫されている。	教材で学んだことを自分の言葉でまとめる構成となっており、自ら考えたことを継続的に学びに生かすことができるよう工夫されている。	学習の要点を考える問いや補充教材集などにより、自らの課題解決に向けて方法を選択し、自分のもつ力を高める配慮がなされている。	SDGsの目標への配慮や、日本の伝統文化に触れた教材を取り入れることで、多様な見方や考え方を尊重する態度を養うよう配慮されている。
3 内容等	(1) 内容の選択	「文字のいずみ」では、文字の歴史や用具・用材、手書き文字など、幅広い文字文化を取り上げ、それを継承・発展させる態度を養うよう工夫されている。	「学習を生かして書く」では、レポートや手紙、掲示物等の書式が示され、日常生活の場面に生かすことができるように工夫されている。	単元後の「書いて身につけよう」で、学習したポイントを繰り返し練習、確認でき、「やってみよう」で日常生活の場面に生かせるよう工夫されている。	毛筆教材では、朱墨や筆使いを示す写真を用いて筆脈や穂先の動きの様子を示し、視覚的に筆使いや学習のポイントが把握しやすいよう工夫されている。
	(2) 内容の程度	書写で学ぶ知識・技能を「書写のかぎ」として系統的に配置し、「生活に広げよう」で言語活動と関連する教材を取り上げ、学んだことを生活に生かす力が身につくよう配慮されている。	学習の進め方を明確に示し、基礎的・基本的な知識・技能から実生活に生かすことができる内容まで取り組めるよう工夫されている。また、「学習を生かして書く」では効果的な書き方を自分で考えるよう工夫されている。	親しみがもてる身近な題材を取り入れ、学習したことを生かすことができるよう工夫されている。また、「学びを広げる」や資料編では、多様な学びが実現するよう工夫されている。	発達段階に応じて教材を配列し、学習内容を焦点化することで、効率的に学習できるよう工夫されている。また「文字を使い分ける」では身の回りにある文字について考えるよう工夫されている。
	(3) 内容の構成	各教材の冒頭で思考し、目標と照らし合わせながら確かめることで、主体的に学習を進めるよう、また、硬筆と毛筆を効果的に関連させて学習できるよう工夫されている。	各教材で「試し書き」の欄を設け、学習内容と照らし合わせることで、自ら学習目標を立てられるよう、また、見つけた課題を毛筆で学習し、硬筆に応用することで効果的に学習できるよう工夫されている。	自ら考えながら練習し、それを硬筆の学習に生かせるよう配慮されており、さらに学習した内容を自分の言葉で振り返ることで、次の学習へつなげていくことができるよう工夫されている。	学習の流れが明示され、効果的に学習ができ、また、「書写ブック」により、毛筆で学習したことを生かしながら硬筆で繰り返し学習ができるよう工夫されている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等	<u>東京書籍</u> 学年ごとに中表紙があり、学習内容が一覧できる。主な学習活動が図記号で示され、見通しを持つことができるよう工夫されている。	<u>三省堂</u> 説明を簡潔にし、自らの気づきを大切にするよう、また、写真や図版、作品例を多く掲載し、豊かな日本の文字文化に触れるよう工夫されている。	<u>教育出版</u> 学年ごとの中表紙に身につける力と学習内容を記し、気づいたことを書く欄を設け、見通しをもって主体的に学習できるように工夫されている。	<u>光村図書</u> 3年間の学習内容を五つに分け、中表紙に示している。主な学習活動を太字で示す、「学習の窓」を設けるなど、主体的に取り組めるよう工夫されている。
5 印刷・造本等	横幅を広くした紙面により、資料性を高め、書き込み欄を充実させると同時に、毛筆手本が半紙の縦横比率にあっており配列の参考になっている。	色による区別をしたり、形や記号・番号を利用したり、学びのポイント等の補助的な手がかりを設けたりなど、視覚的に利用しやすい紙面となっている。	見開き完結型のページや図記号が採用され、見やすく工夫されている。横幅を広くした紙面を生かし、文字感覚を身につけやすい紙面となっている。	文字を識別しやすい配色やフォント、すっきりとしたレイアウトの採用などにより、読みやすく理解しやすい紙面となっている。